

箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
箕面ユネスコ協会事務局
〒562-0013 箕面市坊島 4-5-20
みのおキューズモール2Fみのお市民活動
センター内 箕面ユネスコ協会（メールボックス）
E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



MINOH

◆ 目 次 ◆

- 活動報告
- お知らせ

♪ホームページ折々に更新中！
「箕面ユネスコ協会」
で検索してください♡

全国の皆さん！ありがとうございました

南九州豪雨災害 物資・支援金へのお礼

新型コロナウイルス感染拡大により、厳しい状況が続き、日々の生活に多大な影響を受けている皆さまに、心よりのお見舞いを申し上げます。

さて、南九州豪雨災害への支援物資を届ける本会活動の、泥掻き用タオルの寄贈活動には、箕面市だけでなく、大阪府内、全国から多くの皆さまより、タオルやマスク等の支援物資、さらには支援金もお寄せ頂き、誠にありがとうございました。

7月6日以降5回にわたり、ダンボール箱 250 箱を超えるタオルを、スタッフや支援者で、直接熊本県や福岡県へ運びました。感染拡大のなか、被災地へ入ること自体が難しい状況でしたが、熊本県では、西原村にある「たんぽぽハウス」（障がい者自立支援施設で熊本地震でのボランティア基地）へ届け、施設の方々から人吉市、球磨村へ届けられました。福岡県筑後市でも、上北島教育会館に関わる皆さんにより、大牟田市等へ届けられました。私たちも熊本県八代市へ直接お届けすることもでき、皆様の応援の気持ちのバトンを繋ぐことができました。

全ての皆様に心より感謝いたします。今後とも私たちの活動へのご支援をよろしくお願いいたします。



箕面ユネスコ協会 ～私たちにできること2～

繋がる力…ネットワーク

- (特活) 市民活動フォーラムみのお
- (バングラデシュの村をよくする会PUS JAPAN) 兵庫県篠山市の 岩下 八司さん
- 暮らしづくりネットワーク北芝

記録的な豪雨被害を受けた熊本県南部の被災地で、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、当地の災害ボランティアセンターは、募集を県内在住者に限定しており、ボランティアの確保が難航しています。



私たちが今いる所で、できることを考え、泥吹き掃除用のタオルを災害の起きた地域へお送りする活動を行いました。

私たちの呼びかけに東北は宮城県から九州は福岡県まで、多くの方々からたくさんのタオルやマスク、消毒液等をお送り頂きました。箕面ユネスコ協会だけではできない大きな活動となったのは協働する支援あったからです。

辻田本会会員が、以前住んでいた河内長野市の友人たちに、「いいのかなあ」と思いながらも「実はタオルを・・・」とお願いしたところ、「辻田さん、まかせてよ」と二つ返事で協力を申し出てくれました。車一台分もの、きれいに仕分けされたバスタオルとフェイスタオル、さらに支援金も届けていただきました。

福岡・熊本両県で「涙が出そうです。困っている方のために」との声をいただきました。

東日本大震災を起点として、2016年4月14日の熊本地震の支援活動から、これまで緩やかなネットワークで協働してきた(特活)市民活動フォーラムみのおの皆さん、暮らしづくりネットワーク北芝の若者、個人ボランティアで全国を飛び回っていらっしゃる、兵庫県篠山市在住のバングラデシュの村をよくする会PUS JAPANの岩下 八司さん等との繋がりがこの活動の力となりました。心より感謝いたします。箕面ユネスコ協会だけではできない大きな活動となったのは、協働する方々の支援あったからです。



ありがとうございました。

これからも、よろしく。



○熊本県八代市坂本町葉木や

福岡県筑後上北島へタオルと支援物を届けました！

八代市坂本町へ

★熊本県南部を襲った豪雨で、暴れ狂う球磨川が家をのみ込み、道路を断ち、いくつもの集落を孤立させました。大阪府池田市に住む乾 充子さんは、箕面ユネスコが泥掻用のタオルを集めているということを知り、連絡をくださいました。乾さんは、実家が熊本県八代市坂本町で葉木地区にあり、片づけに坂本へ帰ることをコロナ下で迷っていたそうです。「戻ると近所に迷惑をかけてしまうのではないか。直接見ないと状況を知りたいのに」と悩んでいることをお話してくれました。



乾さんの実家のある坂元町は、本格的なダム撤去が2年前に実現し、球磨川の清流を再生した街おこしをめざしていました。球磨川の氾濫で、住宅や役所、数少ない商店などが壊滅的な被害を受けました。乾さんの思いと情報提供を受け、直接八代市坂本町の葉木地区へタオルを届けることができました。葉木地域福祉センターに立ち寄りしましたが、意外にも歓待されました。



筑後市へ★

県内や、近隣県のみでの往来しか認められない状況下でも、熊本地震の支援活動でつながりのある、緩やかなネットワークで協働してきた、福岡県筑後市上北島教育会館の田中 かおるさんを通じ、福岡大牟田市や熊本県人吉市へタオルを運んでもらえることとなりました。

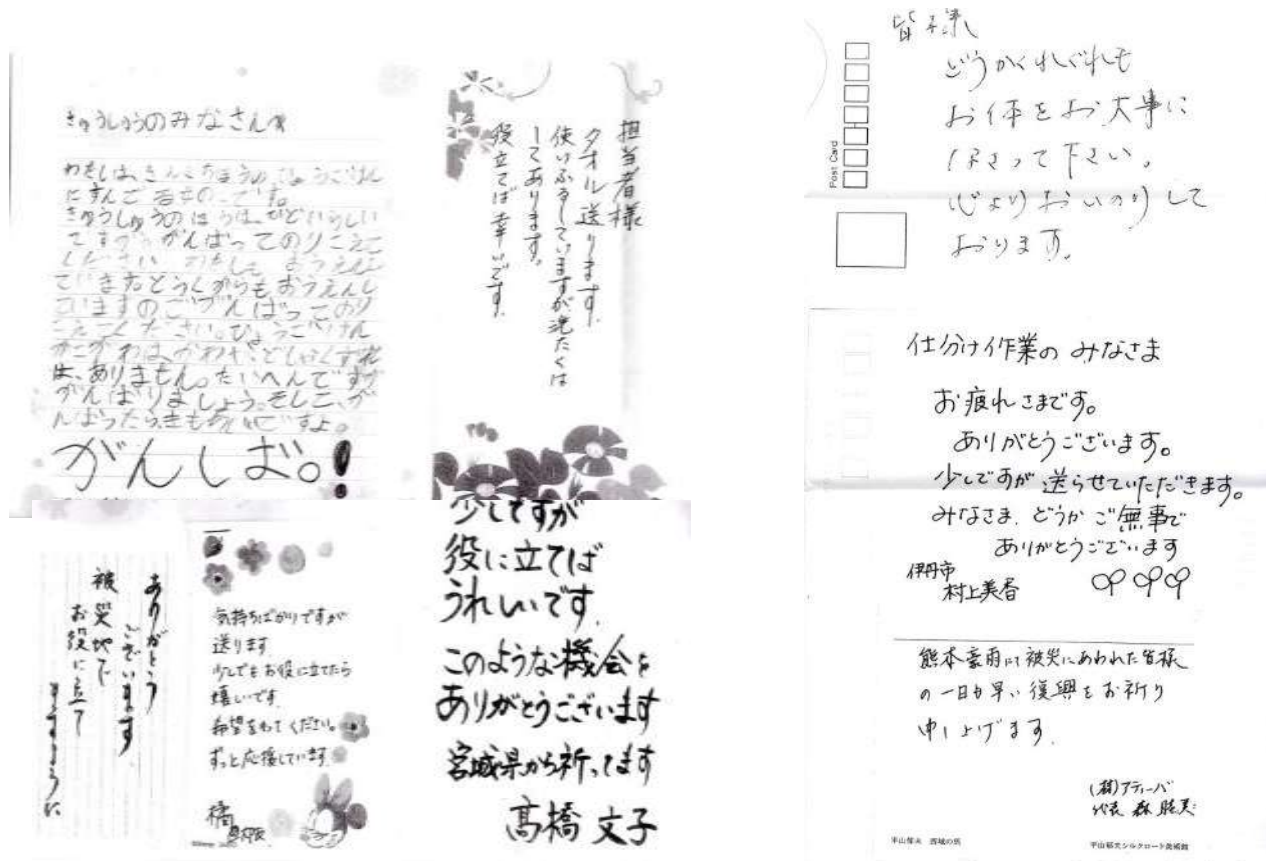
◆ わたしたちがタオルを届けて1週間後、乾さん家族が坂本町へ戻られました。

その後の、お手紙です。 →



坂口さん、今週末、無事帰ってきました。やっと、片付けも本格的になっており、我が家も、2日間ボランティアの方も入ってもらって、片付けてきました。タオル等、たくさんありがとうございました。地域の方たちに、箕面ユネスコ協会というボランティアのところからです。使ってください！と、快く分け合うことができました。現実、自分の目で見ると、災害の大きさ、本当に変わり果てた田舎の姿に衝撃が大きく、帰ってきてから涙ばかりです。🌸色々とお世話になりました。(乾 充子)

皆さん～応援メッセージありがとうございます！



2017年坂口さんに福島に連れて行ってもらいました。
 その時、ヤマヨ水産の小松さんから朝倉水害のボランティアで使ってくださいと3万円お預かりしておりました。何か有効な活用方法はないかと思いながら…
 今回タオルを切っ掛けにYNFの江崎さんに連絡をとり、在宅被災世帯を中心に支援活動を行うYNF九州豪雨災害支援に寄付をすることになりました。小松さんのご了解も得たく、本日電話連絡、快く承諾頂きました☺
 コロナでボランティアに入ることはできませんが、解放太鼓からも物販収益金をカンパしました。(田中 かおる)

勝手に！ お米寄贈プロジェクト～今できること！

～ NPO法人たんぼぼハウス「子ども食堂」へお米を届けませんか！ ～



2016年4月14日の熊本地震支援活動の拠点となった、たんぼぼハウスを引き続き紹介します。私たちのボランティアも多く受け入れたいただいたことがご縁で、箕面ユネスコの今の活動につながっています。障がいのある方や、生活困窮者や生活保護の方、アルコール依存症の方などが通い、加工品などの製造販売を行っています。たんぼぼハウスの別館「ふわり」で、土曜日に無料子ども食堂を運営しています。何か応援したいと思いついたのは、お米を届けることでした。是非皆さん、よろしくお願いいたします。

お知らせ

20年10月 NPOフェスタ **被災地支援チャリティー物産展**で参加します。
 お宝人権まつり 形は協議中ですが、参加協力します。